

# 家庭学習の定着に向けてー必要なのは…1本の木!?

～香美・香南地区PTA教育行政研修会を終えて～

家庭学習の定着へのキーワードは、1本の木ー!?

『自ら学ぶ力を育てよう～家庭学習の定着に向けて～』をテーマに今年も県内6カ所で行われた「PTA・教育行政研修会」の香美・香南地区版が8月7日（土）に香美市



中央公民館で開催されました。

当日は、香美市の土佐山田祭りと重なった中、多くの保護者の皆さんの参加を得て、研修テーマについて活発な協議が行われました。

全体会では、県教育委員会の取組説明の後、昨年度県の「家庭学習推進事業」の委託を受け、取り組んできた香美市立舟入小学校・大宮小学校の2校の実践報

告がそれぞれのPTA会長さんからありました。舟入小学校は「伸ばそう！活かそう！家庭力」を目標に、生活実態調査から見えてくる課題の家庭への啓発や「ノーテレビデー」の取組が徐々に浸透してきたこと、また、大宮小学校は「Always 香北の夕日」と銘打ち、家庭生活を今一度見直し、生活習慣の確立に結びつけていこうというユニークな取組により成果が見えてきたこと等が報告されました。



このあと、7つのグループに分かれ、テーマに向けた意見交換会が行われました。今年、せっかく参加していただいている方々に「少しでも多く意見を」という思いから、思ったことを感じたことを付箋紙に書き込んでもらい、それを模造紙に貼っていき、整理していくという手法を取り入れました。

それぞれ簡潔に自己紹介や各校の取組を発表した後、いよいよ付箋紙へ。最初は戸惑っていたものの徐々にグループの中でこの手法の経験者の方々が中心になりながら、いろいろな意見が出始めました。1つ、2つと付箋が貼られていくと、そこは熱い思いを持った参加者たち。それぞれの付箋に思いを付け足しながら、あっという間に模造紙は付箋の“華”でいっぱいになりました。やがて出された意見は似た意見同士に分けられ、上手に整理されていきました。





そして、全体会での報告。本来ならすべてのグループからの発表という所だったのですが、時間の都合上4つのグループからの発表となりました。どのグループも充実した意見交換が行われたことを窺わせる内容ばかりでしたが、その中でも参加者の多くが共感し、感心させられたのが左のものです。

このグループでは、出された意見をそれぞれ分け、1本の木で表現していました。家庭学習の定着に向けての家庭での「ルールづくり」や「環境づくり」といった取組は、木の“葉”で表現し、その基になる「基本的な生活習慣」を“幹”に、さら

にこれを支える「親子のつながり」を“根”で表現していました。

そして、それぞれの発達段階、成長過程でたとえ1枚、2枚の“葉”が落ちようとも、その“幹”さらには、地表に現れていない（目に見えない）“根”の部分さえしっかりしていればいつかまた新しい“葉”をつけるとまとめてくれました。

家庭学習の定着に向けて必要なのは、1本の木！いかがでしょうか。